

全国女性団体 連絡協議会 (旧婦人会)

いま、かがやいて活動している
女性たち
ぐっとアップ!

2024
3
NO.565

編集・発行 全国女性団体連絡協議会 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-17-14
電話 03-3407-4303(代) http://www.chifuren.gr.jp
共催:全国女性会館

プロジェクトの趣旨に賛同し、野菜の消費拡大に取り組みます。

野菜を食べようプロジェクト

検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

食品ロス削減国民運動のロゴマーク

「ろすのん」

NO-FOODLOSS PROJECT

私達はこの運動を推進します!

アースエコ

プラスチック資源の削減、リサイクルの促進でCO²排出を減らし、地球環境保全に努めます。

能登半島地震被災地支援のために

1月1日に能登半島地震が発生して約2ヶ月半の時が経ちますが、いまだに避難所生活をされている方も多くいらっしゃいます。連日のニュースで見ると、道路や水道の復旧もままならない状態が続き、生活に必要な物資も十分に行き届いていない状況です。全国女性団体連絡協議会では1月にお米とデリバリーステーションを石川県婦人団体協議会に送り、被災地支援に役立てていただけるようにお願いしたところです。また、2月6日に常任理事会を開催し、今後被災地支援のための義援金を集めることを決定しました。すでに全国にその旨はご案内していますが、改めて紙面上でもご案内します。

被害が甚大だった能登半島を擁する石川県では、「今こそ婦人会」を合言葉に独自の支援活動を始めています。2月22日に「再会&大笑いの日」として物資の無料配布、爆笑コントと落語、炊き出し、お悩み相談会を石川県女性センターで開催しました。当日はあいにくの雨で寒い日でしたが、多くの皆様にお集まりいただき、様々な物資をお届けすることができました。ご飯とお味噌汁の提供には1度に100人分の炊飯と汁物ができるデリバリーステーションが威力を発揮しました。お悩み相談会では、住まいや仕事に関することに加え、無料弁護士相談も設けて様々な悩みに対応しました。

石川県の能木場由紀子会長は「今が始まりの一步でまだまだこれから先が長く、被災地がもう少し落ち着いたら、能登地区の仮設住宅等に炊き出しに伺うことを計画中です。心をひとつにして、能登の応援を続けていきます。」と力強く語ってくれました。

日頃、防災セミナーを重ね有事に備えてきましたが、こうした大きな災害が起こるたびに、防災の重要性を再確認します。やはり防災は地域で情報を共有することが重要ですので、重ねて隣近所、友人知人、親戚、職場の同僚たちを誘って、防災セミナーに参加いただけるよう呼びかけをお願いします。

能登の被災者が生活を立て直すためには、長い時間と努力が必要になってきます。しかし阪神淡路大震災や、東日本大震災など大きな災害にあっても、必ず私たち日本人は復興を遂げてきました。まだ道半ばの部分もありますが、少しずつでも前に向かって進んでいく思いは、多くの人の心に根付いています。今、私たちができることは、より多くの義援金を被災地に送ることです。これから各県で様々な催しや会合が開かれた際には、是非とも被災地支援の話題を出し、積極的に義援金をお願いをしていただけますようお願いいたします。すでに、義援金をお送りいただきました皆様には厚くお礼申し上げます。引き続き息の長いご支援を重ねてお願いいたします。



金沢に能登の人集まれ〜再会 and 大笑いの日

開催日: 2024年 2月22日(木)

10:30~15:00 (開場 10:00)

会場: 石川県女性センター

物資無料配布

炊き出し

お悩み相談会



炊き出しのご飯とお味噌汁に舌鼓をうつ来場者

令和5年度 全国女性団体連絡協議会 四国ブロック会議

2024年2月19日・20日の2日間に渡り、ザ・グラン
ドパレス徳島で全国女性団体連絡協議会四国ブロック会
議を開催しました。ブロック内から約170名が参加し
ました。

テーマ①「四国はひとつ」

*各県代表から、地元での活動を他
県でも参加してほしい。

*ホームページ上に、4県の情報をまとめて掲載してほしい。

テーマ②「地域活動・特色ある地域活動」

【香川県 高岡副会長】地元で大学生、さらに小学生まで広
げて、防犯パトロール活動を進めている。「全国高校生花
いけバトル香川大会」の後援。

【高知県 山下会長】全女会広報誌9月号を配布し、「郷土
料理とジオパーク」事業を紹介する。

【愛媛県 三好会長】地元のお祭りや防災は密接な関係が
ある。例えば、お祭りでのテント設置や照明の発電機使
用、食事の提供など。

【徳島県 藤田会長】平成23年に四国4県防災の日を4月
4日に決定しました。各県からの活動報告をお願いした
い。ホームページへの情報掲載は、今後話し合いを進めてい
きたい。

講演「フレイル予防で元気に長生きに」

講師 徳島文理大学保険福祉学部理学療法学科教授
鷲 春夫氏



行事参加が一層楽しく

佐賀県 原口 恵美

婦人会に入るきっかけは子供が小学校に入る時、今後婦人会の
方々にお世話になる事が多くなるかな、顔見知りの方が増えたら
いいかな、と思った事です。楽しかった事は、知り合いの方との楽しい
お話や色々な繋がりのおかげで、町の行事参加がより一層楽しく
なった事です♡ 婦人会は忙しい、大変というイメージがまだ先行している
ので、まずは「知り合い作り」と「気楽にお喋り会感覚」で参加する人
が増えたら良いのと思います！
趣味は特別なものは無いですが、中高と吹奏楽部でクラリネットを
担当していたので、音楽鑑賞、吹奏楽鑑賞は好きです。得意料理は若
桶ポークを使ったポークカレーと、生姜焼きです。何かにつけて子
供がリクエストしてくるので、作る回数も増えました。我が家の料
理に豚肉の登場が多いのは、私と主人で養豚の仕事をしていること
もあります。大きい豚から子豚まで、現在約700頭を飼育中です。畜
産業は生き物を育てるので大変なこともあります。子供と主人の笑
顔に支えられて日々奮闘中です。日常に婦人会という楽しみが増え
たので、これからも家業と地域活動の両方を頑張りたいと思いま
す。



気負わず楽しく

佐賀県 村山 美智子

23歳で結婚し3人目を出産した後、
義母と交代という形で自然に婦人会に
入りました。勤めていたので平日の行事
には参加できず、休日は休みたいし子供との時間
も作りたいし、行事に参加するには葛藤が
ありました。

小さな地区で高齢化もあり支部長のなり手がなく
全員やめることになりましたが、私ができる間は
するからと残ってもらい、4年前から本部役員も
兼務中です。

婦人会に入って、知らない方と知り合いになれたり、
個人ではできない裁判所や刑務所の見学、色
々な研修は貴重な経験で、特に大変だっ
たけど楽しかったのは、昨年のコロナや台
風の時のコンサートの成功。

昔と違い多様な社会、楽しく活動するために
大きな見直しが必要じゃないのかな。

実は大勢での活動は苦手で、個人的に趣味
や特技を生かした地域活動をしたと思っ
ていて、婦人会の活動はボランティア
「やれる人がやれる時にやれるだけ」と
気負わず、これからの縁の下での力持
ちとして協力していこうと思っています。

趣味は手芸、縫い物、クラフト、水引き
作りなど。洋服やバッグなどの雑貨を作
っている時が一番幸せな時です。あ、忘
れられている物に関係すること、もの、
みんな好き。大好き！



素敵な先輩のと出会い

佐賀県 松永 のぞみ

5年前、退職したときに、ちょうど地区の班長の当番がまわって
きました。それまでは父母まかせで何もしてこなかった私でしたが、
区の活動の仲間に入れていただき、心が落ち着いてとても安心した
のを覚えています。その時ご一緒だった役員の方に「婦人会の会合に
行ってくれない？楽しかよ。」と誘われ、これもまた初めて婦人会の
活動をする事になりました。

支部長の方々は、皆それぞれ、地区の活動や民生委員、保護司、
ボランティアの会などを兼ねておられて、とてもお忙しいはず
ですが、新人を温かく迎え入れて優しく接して下さったので、
一員に加えていただけてよかったです。

皆さんは、お話、踊り、小物作り、パソコン、料理、着付けなど、
それぞれ得意分野があり、それを皆のために惜しげもなく披露
してくださっています。婦人会は、各々のそれまでの経験が
素晴らしく生かされる活動だと思っています。

私は母の世話で時間ばかり気にしたりしていますが、「できる分
でいいよ」と声をかけてもらい、1つの活動が終わると「よかつ
たよ」とほめてもらい、それに甘えて、いつの間にか4年の月日
が経っていました。

令和5年度はさまざまな行事が再開され、その準備や練習で
大変なことも増えましたが、やり終えたときの喜びも大きく、
癖になりそうです。

これからますます年を重ねていきますが、それが楽しみになる
ような素敵な先輩方と出会えてほんとうによかったです。

趣味はフラワーアレンジメント、土いじり、カーブスにて身体を
動かすこと。



婦人会でコンサート誘致

佐賀県 山口 聡子

お嫁に来て早や35年になります。私は県外からお嫁に
来たので、周りには誰も知らない人たちがばかりでした。仕
事もしていませんでした。知らない土地で右も左も分からない
状態で、地域の婦人会活動に参加することになりました。会員の中
でも比較的若い方も自然と多くなり、たくさんの方と出会い、顔見
知りの方も自然と多くなり、たくさんの方と出会っていただきました。
さらに支部長を経て、現在は副会長2期目です。

コロナが流行する前は、趣味でお友達と季節の花々を見に行
ったりウォーキングをしたり、夫婦で旅行したりして楽しんで
おりましたが、コロナが流行し、なかなか思うようにできな
くなり、婦人会も同じようになり、なかなか活動ができ
なくなりました。そんな中、皆さんご存じのとおり、一昨
年は杉良太郎・伍代夏子・藤あや子歌謡ショーが開催
されました。まさか、婦人会でコンサート誘致が
できるなんて驚きでした。武雄市地域婦人会が一致団結して
行ったイベントは大成功でした。2年経った今でも鮮明に
覚えています。台風が過ぎたばかりの雨の中、駐車場の誘
導係をしたこと。ずぶ濡れで2回も着替えをしたこと。来場
いただいた皆さんから励ましの言葉をかけていただき嬉し
かったこと。楽しい思い出です。

昨年5月、コロナが5類になり、婦人会活動も増えつつ、
活動内容も幅広くなってきました。これからもっと、婦人
会活動は活発になっていくことでしょう。近年、会員数
が減ってきていると聞いています。是非、婦人会に入会
していただき、婦人会活動を通じて2025年超高齢化
社会を迎えるにあたり、誰でも安心して暮らせる住
まい町づくりを目指して、婦人会でもできること、
婦人会だからこそのことをみんなで考えていけたら
と思います。

あなたが輝ける場所へ。

茨城県 人材派遣 労働大臣許可第1号

Environmental Scientific Service Administration

株式会社つくばESSA

☎029-836-3636 Fax029-838-1301

305-0062 茨城県つくば市赤塚616-1



沖縄県では女性(婦人)の主張中央大会を毎年開催しています。その中から入賞者の主張を紹介します。

2024年、全国の若手メンバー紹介。次世代を担う大切な仲間たちです!



普天間の母親が感じる「ホントの平和」とは 沖縄県宜野湾市 与那城 千恵美

「お母さんあのおさ〜と、くっついて来る私のかわいい二人の子も達。その子ども達を「お母さん、話聞いてちょうだい」と泣かせる事になってしまいました。私は、子ども達といつも一緒に居るために専業主婦を選んだはずなのに…。なぜ、こんな事になってしまったんだろう。なぜ、普通の主婦の私が、子ども達を泣かせてまで、国と闘わないといけないようになってしまったんだろう。皆さん、日本は今、平和だと思いませんか？私は、平和だと思っていました。周りには戦争体験者のおばあさんがたくさんいて、学校では毎年平和学習をしてきました。そのため、これまで平和についてしっかりと考えてきたつもりだったし、平和とは戦争のない事だと漠然と思っていました。

そんな私が「戦争がなければ平和って考えるのかな？」と疑問がわき、平和について真剣に考えるようになり、2017年12月当時3歳だった娘の通う保育園への米軍ヘリ部品落下事故でした。

普天間で生まれ育った私にとって、基地がある事が当たり前過ぎて、何の違和感もありませんでした。しかし、娘の保育園の事故の知らせを受けた時、頭が真っ白になって、体が震えて、涙が止まらなくなりました。保育園へ迎えに行った時、「お母さん」といつもと変わらず笑顔で駆けよってくる娘の姿を見た時、ホッと全身の力が抜けて、涙が溢れそうになりました。その瞬間、魔法が解けたかのように、「私達は、こんな危険な所に住んでいたい」と、初めて基地の危険性に気が付きました。それから、ママ達8人で、子ども達を守る活動を続けています。

保育園の事故からわずか6日後、今度は近くの小学校に窓枠が落下。安心安全であるはずの子ども達の学校に、2度も空から物が落ちて来るといふあり得ない事が起きました。

事故後、保育園では天気の良い日でも、米軍機が低空飛行する日には、お庭遊びをやめてお部屋遊びに切り替えます。子ども達は園庭遊びが大好きなので「何でお天気のいい日にお庭遊びが出来ないの？」と、悲しみます。小学校では、米軍機が来たら避難する避難シミュレーターが設置されました。まるで戦時中かのように…。

そんな中、今度は水道水に有機フッ素化合物PFASが入っている事が分かりました。PFASは子どもの発育への悪影響が指摘されています。その上、娘の通う小学校の運動場の土からも高濃度のPFASが検出されました。普天間の子ども達は発育に必要な「空、水、土」が危険な物となり、普天間で子育てする私達は危険な「空、水、土」から子ども達を守らなければならなくなりました。

私達を苦しめる物はそれだけではなく、保育園の事故後、米軍が部品は米軍の物と認めたものの、落下を否定したため自作自演との誹謗中傷が相次ぎました。今でも私達に「子どもをタシに基地反対するな」「基地の側に住んだ人が悪い」などの言葉が投げ付けられ、私達を苦しめます。

それよりも、私が一番辛い事は、子ども達と一緒に居る時間が削られる事です。県内外での講演会や要請のため走り回り、これまでのように側にいてあげられなくなりました。子ども達は「お母さん行かないで」と泣きました。子ども達に見られない所で、私も何度も泣きました。私は、家でも電話でのやり取りや資料作りですとバタバタしています。そんな時に息子が大声で「お母さん、話聞いてちょうだい」と泣き叫びました。今でもその光景を思い出すと、胸が張り裂けそうになります。また、私がいけない時は、夫や母が仕事を休んで子ども達を見てくれます。家族の支えがあつてこまで5年間やってこれました。

なぜ、私が諦めずに頑張る続けるのか？その理由は、子どもの命を守るため、そして、子ども達が親になった時、同じ思いを絶対にさせてはいけないの思いからです。

これが、戦後78年、本土復帰51年目の沖縄です。これが、ホントに平和と言えるのでしょうか？普天間で子育てしている母親の私が感じるホントの平和とは、それは、戦争がないのはもちろんの事、「一番守られるべき子ども達が大切にされ、しっかりと守られる社会がある事」だと思っています。

事故当時7歳だった息子は中学1年生、3歳だった娘は小学3年生になりました。今では私の活動を「お母さん頑張ってるね」と応援してくれています。そして、子どもながらも、沖縄の今、日本の今をしっかりと見えています。

皆さんご存じのように、沖縄は今、軍事化がどんどん進んでいます。大人の私達こそ、沖縄の今、日本の今をしっかりと見つけ、一人一人がホントの平和について真剣に考える時が来ているのではないのでしょうか？子ども達の輝く笑顔がこれからもずっと続くように！そして、明るい沖縄の未来を、子や孫たちに残していける事を願っています!

命のバトン

沖縄県石垣市 君島 智子



「ありがとうね。よく頑張ったね。後は大丈夫だからね。心配するなよ。」亡くなられていく方にかけている、ご家族の涙ながらも温かい言葉でした。

皆さんが「死」として思い浮かべるのは、どのような場面でしょうか。病院のベットで横になり、酸素や点滴をして、モニターの波形がフラットになる、その瞬間を「死」として浮かべる人は少なくないと思います。確かにそれも一つの「死」の形です。では、皆さんは、どのような「死」を迎えたいか、考えたことはあるでしょうか。医療は日々進歩していますが、誰も必ず「死」はやってきます。それは避けられない事実ですが、それまでを、どこでどう過ごすのかは、個人の選択に委ねられています。

私は、東京の救命センターで働いていました。センターには、毎日沢山の患者様が搬送され、毎日のように死があります。目の前にある命は、特殊な環境に置かれ、その方の生活背景に配慮することは少ないです。その頃の私は、医療は絶対的正義で、最優先にするべきだと思っていました。

私は13年前、石垣島に移住して、訪問看護の仕事を始めました。地域の方々と触れていく中で、行事が多いことに驚きました。平日休日構わず行われる豊年祭や海神祭などの伝統行事に、地域が一丸となり、率先して参加します。文化的活動の伝承が、当然のこととして生活の一部になっているのです。数ある行事の中でも、旧盆、十六日祭は特に盛大です。ご先祖様への敬意の強さから、これまで持っていた医療観、看護観を見直し、地域の方々と文化に触れていく中で、命は日常の中にあり、日常の延長に死があるという、本来の命の形に気付くことができました。医療はもちろん大切ですが、生活の中に入ってしまうと、ごく一部に過ぎません。特に、終末期においては、薬よりも、普段食べ慣れたご飯の方が、生きる意欲をもたらす、病气から生じる苦痛を緩和する場面が多々あり、そのギャップに驚くばかりです。終末期の過ごし方には、お一人おひとりの生き様が良く表れ、ドラマのようなエピソードが毎回あります。最期の晩餐にと妻のカンダバーजूシーを食べ、一番弟子の奏でる三線で「あがろうぞ」を聴いて満足したように眠られたり、「ああ、楽しい人生だった」と話して眠られたり。苦し

い状況になっても、孫の声には笑顔を見せ、最期まで頑張ることを家族に示しながら眠られたり。故人が大切に生きてきた生き方、考え、文化を次の世代に託していかれます。

一方で、在宅看取りが良いという方ばかりではないとも思います。在宅療養に不安を感じる方は少なくありません。ご家族を大切に思い、少しでも苦しくなく、一日でも長く元気でいてほしいからこそ、何かあってもすぐ処置ができる病院を希望する方もいます。もちろん、病院も素晴らしい所ですし、その選択も間違っていないと思います。

白保婦人会活動の中で、看取りについて講演する機会をいただきました。実際に看取りを体験された方は「本人の意思を尊重し、最期の時間を住み慣れた自宅で過ごすことができた」と当時のことを涙ながらにお話し下さいました。また、「生まれ変わりのように孫が誕生して、改めて感謝した」というお話も聞くことができました。最期の過ごし方にはその方らしさが表れますが、自宅はそれを、際立たせてくれる場所であること、最期をどう過ごしたいか普段から伝えておくことの大切さ、命が繋がっていくものだという事を、この講演を通して改めて感じ、地域の方々と一緒に考えを深めることが出来ました。

終末期において、「側にいること、寄り添うこと」が一番重要で、一番難しいことだと思います。特別なことをする必要はありません。いつも通り、朝起きたら家族の声がして、生活の音がして、匂いがして、その日常に居ることが大きな力になります。病気がもたらす苦痛はどこにいても生じます。薬は使いますが、それでも痛い、きつい、そんな時、「安心」は苦痛を緩和させます。何に「安心」を感じるかは人それぞれですが、日常を感じることに安心を感じる方は多く、家族の声や手の温もりは何より強い力になります。

大切なご家族の亡くなる様を見ることは、とても悲しい、苦しいことです。しかし、その方の生き方を一番感じられ、命の重さ、強さ、儚さを知り、その方の思いを、残す家族に伝える大切な時間でもあります。去り行く命を見つめることで、今ある命を見つめ直す。命は先祖から続く大きな流れの中にあり、今を生きる私たちは、先祖から受け継いだこの命を、去りゆく時に次の世代に託す、これが「命のバトン」。私は、石垣島に移住し、地域の活動に触れる中で、命のあり方、それに寄り添う看護師としてのあり方を見直すことができました。これからも、「命のバトン」に寄り添い、命の、そして地域の伴走者でありたいと思います。

命のバトンをみながら考えていけたらなと思います。

松平 健
芸能生活50周年記念公演

2024年7月6日(土)~7月31日(水)

【出演者】松平健、市川由紀乃、辰巳ゆうと、ほか

【開演時間】
昼の部11時/夜の部16時30分

【定価料金(税込)】
S席(1階席・2階席)13,500円

会員様 特別価格(税込)
S席 12,150円

中村 雅俊
芸能生活50周年記念公演

2024年6月2日(日)~6月18日(火)

【出演者】中村雅俊、久本雅美、コロッケ、ほか

【開演時間】昼の部12時/夜の部17時
(2日のみ15時開演)

【定価料金(税込)】
S席(1階席・2階席)13,000円

会員様 特別価格(税込)
S席 11,700円

中村 雅俊
芸能生活50周年記念公演

2024年6月2日(日)~6月18日(火)

【出演者】中村雅俊、久本雅美、コロッケ、ほか

【開演時間】昼の部12時/夜の部17時
(2日のみ15時開演)

【定価料金(税込)】
S席(1階席・2階席)13,000円

会員様 特別価格(税込)
S席 11,700円

明後座

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1

受付時間 平日9:00~17:00

【フリーダイヤル】
0120-64-3800

※混雑状況によっては、御希望の日程でお席をご用意出来ない場合がございますので予めご了承ください。

明後座

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1

受付時間 平日9:00~17:00

【フリーダイヤル】
0120-64-3800

※混雑状況によっては、御希望の日程でお席をご用意出来ない場合がございますので予めご了承ください。

HABOMAI
北海道・昆布

全国女性団体連絡協議会公認昆布

歯舞早煮昆布

皆さまが支えています

歯舞早煮昆布は、全女会が北方領土返還運動の一環として、北方領土で採れた貝殻島産神前昆布を歯舞漁協で袋詰めしたものを全女会公認昆布として取扱っております。

歯舞早煮昆布のご愛用
地域女性会の活動資金源

歯舞早煮昆布 200g巻タイプ
歯舞早煮昆布 200g切タイプ

★歯舞漁業協同組合

安心の目印

公正マーク

<https://www.jfftc.org>

一般社団法人全国公正取引協議会連合会



2024年度(令和6年度)予定
新規事業のお知らせ

**全国地域防災減災
マップづくり**

身近な暮らしの中で女性が見つけた「危険な場所」を、白地図に落とし、改めて日常生活で防災・減災に役立てていく事を目的に、本事業を進めてまいります。

停電時の強い味方！
災害に備えるなら

LPガスポータブル発電機

自然災害で電気がストップ

近年、日本では大規模な自然災害が多発しており、電気、都市ガス、水道のライフラインがストップする事態も起こっています。

今年元旦に発生した「令和6年能登半島地震」では、被災地で停電が長期化し、解消されるまでに時間を要しました。電気だけでなく、水道も長期間使えなくなり、災害対策の新たな課題を浮き彫りにしました。

電気や水道等のインフラ途絶は、災害発生後の復旧作業や被災者の避難生活などに大きな影響を及ぼします。

常備した発電機が停電時に活躍

災害で停電した際に、実際に常備していたLPガスポータブル発電機を活用して、電気を使うことができた事例もあります。

全道が停電する事態に見舞われた2018年の北海道胆振東部地震をはじめ、非常用に備えていたLPガスポータブル発電機(写真)を稼働させることで、停電のときでも電源を確保できた事例は少なくありません。

こうしたことから、災害時の備えとしてLPガスポータブル発電機を常備する施設が増えています。特に、入居者の命を預かる介護福祉施設や、地域の避難所に指定された民間施設などで、手軽に使える電源として選ばれています。

家庭のLPガスで電気をつくる

LPガスポータブル発電機は、災害で電気、都市ガス、水道のライフラインが寸断したときに、とても頼りになります。

家庭や職場で使っているLPガスを燃料として、簡単に電気をつくるので、予期せぬ停電が発生しても、照明、携帯電話やスマートフォンの充電、調理器具、暖房機器などをいつも通りに使えます。ガス機器の電源にもなるので、給湯器を作動させて、お湯を使うことができます。

また、断水が長期化しても、発電機を使って井戸やプールなどの水を汲み上げるポンプを動かすことで、生活に使う水を確保できる場合もあります。これにより、災害時に水道が使えなくなったときの洗濯やシャワー、トイレなどの心配が軽減されることもあります。

災害時も安心の長時間運転

小型で軽量のLPガスポータブル発電機は、誰でも持ち運びが簡単で、保管場所にも困りません。

停電が長期化しても、容器に備蓄したLPガスを燃料に使うので、長時間運転が可能です。災害発生後は、生存のために3日間(72時間)を乗り切ることが重要ですが、LPガスポータブル発電機があれば安心です。

家庭はもちろん、職場や公共施設、避難所などで、万が一の災害対策として備えておきたいです。

LPガス 人と地球にスマイルを 日本LPガス団体協議会




見つめています。
未来の豊かな生活環境。

looking toward a future.

食品ロスを無くそう！



関東商事グループ
代表取締役 櫻井よう子

株式会社 土浦関東商事
関東商事株式会社 有限会社総合整備 株式会社 つくばESSA

郵政民営化前の郵便貯金や簡易生命保険はございませんか？ **ご家族にも確認を！**

郵政民営化前(2007年9月30日まで)にお預けの定期性の郵便貯金は、法律により満期後20年2か月経つと権利消滅の扱いとなり、原則払戻しが受けられなくなります。

払戻しのお手続きや、権利消滅の扱いとなった場合のご相談は下記にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】郵便局の貯金窓口・ゆうちょ銀行の窓口または、ゆうちょコールセンター(0120-108-420)

お受け取りになっていない簡易生命保険の保険金はありませんか？ご加入されております簡易生命保険について、今一度、保険証書をご確認の上、お早めにご請求手続きをお願いいたします。

【お問い合わせ先】郵便局の保険窓口または、かんぽコールセンター(0120-552-950)

郵政管理・支援機構(独立行政法人 郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構)




オフィススペース空きあります。

入居者募集!

全国女性会館

〒150-0002 渋谷区渋谷1-17-14 TEL:03-3407-4301 FAX:03-3407-4305

JR・地下鉄銀座線渋谷駅(宮益坂口から徒歩5分)

東急田園都市線・東横線渋谷駅・地下鉄半蔵門線・副都心線渋谷駅(地下出口20aかB1から徒歩3分)

